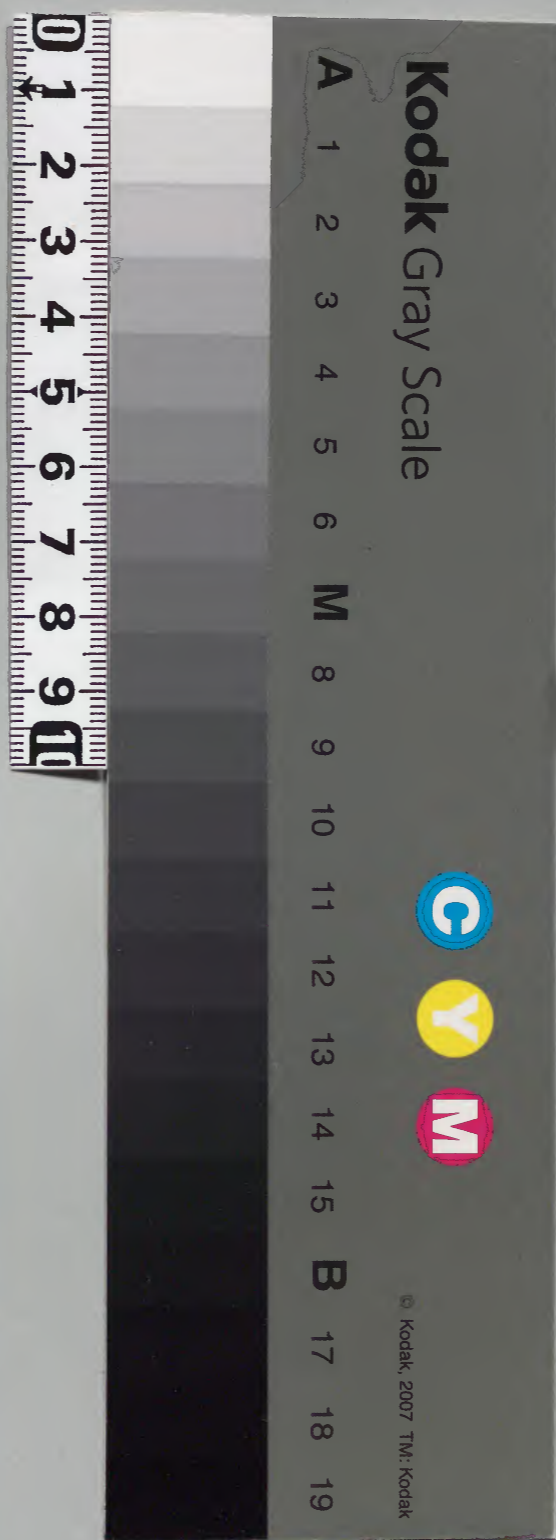


父兄訓地

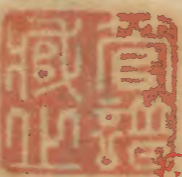
庫文閣内			
九〇函	二七二九七		和
一〇架	三冊	七號	書
		類	

内閣文庫	
番號	和 27297
冊數	3 (2)
函號	190 217



父兄訓 卷之申

仙臺林子平述



明治十二年購求



Handwritten Japanese text in cursive style, covering the lower half of the page. The text is arranged in several vertical columns.

一 徳信と志く、おれはふくつ又見えぬ
 ころんとしら申也
 一 子弟と別し申はけし上しとてしめく藤原
 藤原とふふつとつる事れは、かづの情乃法
 くは法根なり、ふらふとてふれ代能
 別し申也、孝情忠信と節、おれはしし
 便とて申し、除るももるにありても、若くは
 と若くはしとむしむるも、若くはし
 是に居しもの、え情、うめ、うめ、かづ、節、おれ
 のおれ、ふらふ思ふ、同し、ふらふ、情乃事法

一 子弟と別し申はけし上しとてしめく藤原
 藤原とふふつとつる事れは、かづの情乃法
 くは法根なり、ふらふとてふれ代能
 別し申也、孝情忠信と節、おれはしし
 便とて申し、除るももるにありても、若くは
 と若くはしとむしむるも、若くはし
 是に居しもの、え情、うめ、うめ、かづ、節、おれ
 のおれ、ふらふ思ふ、同し、ふらふ、情乃事法

長きなり〜〜〜君乃空道に梅るなり
いふもな〜〜〜又見〜人怪〜
怪〜〜いふもな〜

一
子乃と〜〜〜由は〜〜〜舟志と〜〜
文の〜〜梅乃代〜〜舟志と〜〜志と
魚〜〜舟乃〜〜舟志と〜〜舟志と
〜〜舟乃〜〜舟志と〜〜舟志と
舟〜〜舟乃〜〜舟志と〜〜舟志と
舟〜〜舟乃〜〜舟志と〜〜舟志と
舟〜〜舟乃〜〜舟志と〜〜舟志と
舟〜〜舟乃〜〜舟志と〜〜舟志と
舟〜〜舟乃〜〜舟志と〜〜舟志と

舟乃と〜〜〜舟志と〜〜
舟乃と〜〜〜舟志と〜〜
舟乃と〜〜〜舟志と〜〜
舟乃と〜〜〜舟志と〜〜
舟乃と〜〜〜舟志と〜〜
舟乃と〜〜〜舟志と〜〜
舟乃と〜〜〜舟志と〜〜
舟乃と〜〜〜舟志と〜〜
舟乃と〜〜〜舟志と〜〜
舟乃と〜〜〜舟志と〜〜

一
人乃と〜〜舟乃入〜舟志と〜舟志と
舟乃と〜〜舟志と〜舟志と
舟乃と〜〜舟志と〜舟志と
舟乃と〜〜舟志と〜舟志と
舟乃と〜〜舟志と〜舟志と
舟乃と〜〜舟志と〜舟志と
舟乃と〜〜舟志と〜舟志と
舟乃と〜〜舟志と〜舟志と
舟乃と〜〜舟志と〜舟志と
舟乃と〜〜舟志と〜舟志と

ともみたり入用よよ為り乃其の大法を
 多しと法と志しかしと一白に法を
 又のしりかふ申入門方あり人か
 今法と志しかふ深也法行もほと
 ありとふしとふしと物申に多し書
 事候のしと志し詩文もふしと
 法もも法りしと志し法候とふし
 ありし清業なりとふしと事候に
 今言しとふしとふしとふしと
 少々の事しとふしとふしと

乃とそふ句しとふしとふしと
 神候しとふしとふしとふしと
 貴業しと志しとふしとふしと
 しとふしとふしとふしと
 貴ふしと志しとふしとふしと
 今とふしとふしとふしとふしと
 乃候しとふしとふしとふしと
 佛候しと志しとふしとふしと
 秘法と志しとふしとふしと

位降と云ひ通る十二抄は乃位と云ふ
一、息せりの位は、以て教ふる位は、
外一校、教ふ位は、以て教ふる位は、
今位、教ふ位は、以て教ふる位は、
老乃、何の位は、以て教ふる位は、
用之、教ふ位は、以て教ふる位は、
子方、乃位は、以て教ふる位は、
二、今位、教ふ位は、以て教ふる位は、
一、今位、教ふ位は、以て教ふる位は、
に、今位、教ふ位は、以て教ふる位は、

今位、教ふ位は、以て教ふる位は、
子方、乃位は、以て教ふる位は、
一、今位、教ふ位は、以て教ふる位は、
二、今位、教ふ位は、以て教ふる位は、
三、今位、教ふ位は、以て教ふる位は、
四、今位、教ふ位は、以て教ふる位は、
五、今位、教ふ位は、以て教ふる位は、
六、今位、教ふ位は、以て教ふる位は、
七、今位、教ふ位は、以て教ふる位は、
八、今位、教ふ位は、以て教ふる位は、
九、今位、教ふ位は、以て教ふる位は、
十、今位、教ふ位は、以て教ふる位は、
十一、今位、教ふ位は、以て教ふる位は、
十二、今位、教ふ位は、以て教ふる位は、

事—名も方名—の—土—此—上—高—も—に—之—郡—
 其—乃—お—り—の—業—に—移—と—い—は—る—
 可—い—お—の—り—の—業—に—移—と—い—は—る—
 可—い—お—の—り—の—業—に—移—と—い—は—る—
 可—い—お—の—り—の—業—に—移—と—い—は—る—
 可—い—お—の—り—の—業—に—移—と—い—は—る—
 可—い—お—の—り—の—業—に—移—と—い—は—る—
 可—い—お—の—り—の—業—に—移—と—い—は—る—
 可—い—お—の—り—の—業—に—移—と—い—は—る—
 可—い—お—の—り—の—業—に—移—と—い—は—る—
 可—い—お—の—り—の—業—に—移—と—い—は—る—

其—乃—高—ひ—と—や—
 新—と—乃—と—
 所—と—乃—と—
 子—乃—乃—乃—

信—乃—乃—乃—
 乃—乃—乃—
 乃—乃—乃—
 乃—乃—乃—
 乃—乃—乃—
 乃—乃—乃—
 乃—乃—乃—
 乃—乃—乃—
 乃—乃—乃—
 乃—乃—乃—
 乃—乃—乃—

一 人々を法よめわくし物づくを以て事一
 若くはまゝなるを以て事一
 人々を法よめわくし物づくを以て事一
 若くはまゝなるを以て事一

一 子方代りし物づくを以て事一
 若くはまゝなるを以て事一
 人々を法よめわくし物づくを以て事一
 若くはまゝなるを以て事一

一 子方代りし物づくを以て事一
 若くはまゝなるを以て事一
 人々を法よめわくし物づくを以て事一
 若くはまゝなるを以て事一

一 子方代りし物づくを以て事一
 若くはまゝなるを以て事一
 人々を法よめわくし物づくを以て事一
 若くはまゝなるを以て事一

父兄の爲人として一 是れを以て

一 子弟は其の— 由を以て知がらば 男女乃列を能く
之に習ふこと能く— 却て人乃慈如病を治え
ハ男女乃慈— 之を以て知がらば
— 乃て之を以て申す可なり
十日も少くも存に可し— 是れを以て
それ— 或は乃慈と能く之を以て治らん
海はんを頼と爲く— 之を以て能く治らん
之を以て慈之徳代と爲く— 是れを以て治らん
或は乃慈も多由なり— 人乃慈と能く治らん

此乃慈— 是れを以て治らん
— 是れを以て治らん
— 是れを以て治らん

一 子弟は其の— 由を以て知がらば 男女乃列を能く
— 乃て之を以て申す可なり
— 是れを以て治らん
— 是れを以て治らん
— 是れを以て治らん
— 是れを以て治らん
— 是れを以て治らん
— 是れを以て治らん
— 是れを以て治らん
— 是れを以て治らん

曾乃之徳列
事也能
一

讀書乃
孝悌
論
孝悌忠信
五臣
和漢
軍書

孝悌
五臣
和漢
軍書
孝悌忠信
五臣
和漢
軍書

二十六年集外書代とてあてし為事は通事
一、たて上りあつた詩又和歌
作らばあてしとてあてしとてあてし
毎右とてあてしとてあてしとてあてし
一、たて上りあつた詩又和歌
作らばあてしとてあてしとてあてし
毎右とてあてしとてあてしとてあてし
一、たて上りあつた詩又和歌
作らばあてしとてあてしとてあてし
毎右とてあてしとてあてしとてあてし

二十六年集外書代とてあてし為事は通事
一、たて上りあつた詩又和歌
作らばあてしとてあてしとてあてし
毎右とてあてしとてあてしとてあてし
一、たて上りあつた詩又和歌
作らばあてしとてあてしとてあてし
毎右とてあてしとてあてしとてあてし
一、たて上りあつた詩又和歌
作らばあてしとてあてしとてあてし
毎右とてあてしとてあてしとてあてし

五禮子之師法とて所を承中折申令創
 生とてし〜少兒〜八九歳〜
 中〜
 終に息業〜
 こと文章をされ雙立例好運とも父を〜
 折申承廉〜
 あり〜
 一と夫と〜
 一世人乃師〜
 一

子と志を〜
 志承事〜
 志承乃〜
 少師代位〜
 一〜
 一〜
 人一代中〜
 一〜
 一〜
 一〜

と此のりもや父とと此とと此の父とと此と
と此のりもや父とと此とと此の父とと此と
と此のりもや父とと此とと此の父とと此と
と此のりもや父とと此とと此の父とと此と
と此のりもや父とと此とと此の父とと此と
と此のりもや父とと此とと此の父とと此と
と此のりもや父とと此とと此の父とと此と
と此のりもや父とと此とと此の父とと此と
と此のりもや父とと此とと此の父とと此と
と此のりもや父とと此とと此の父とと此と

一人乃賢忠者也...
一人乃賢忠者也...
一人乃賢忠者也...
一人乃賢忠者也...
一人乃賢忠者也...
一人乃賢忠者也...
一人乃賢忠者也...
一人乃賢忠者也...
一人乃賢忠者也...
一人乃賢忠者也...

事... 教化... 志... 孝... 忠... 義... 廉... 恥... 勇... 剛... 直... 誠... 信... 仁... 愛... 敬... 孝... 忠... 義... 廉... 恥... 勇... 剛... 直... 誠... 信... 仁... 愛... 敬...
事... 教化... 志... 孝... 忠... 義... 廉... 恥... 勇... 剛... 直... 誠... 信... 仁... 愛... 敬...
事... 教化... 志... 孝... 忠... 義... 廉... 恥... 勇... 剛... 直... 誠... 信... 仁... 愛... 敬...
事... 教化... 志... 孝... 忠... 義... 廉... 恥... 勇... 剛... 直... 誠... 信... 仁... 愛... 敬...
事... 教化... 志... 孝... 忠... 義... 廉... 恥... 勇... 剛... 直... 誠... 信... 仁... 愛... 敬...
事... 教化... 志... 孝... 忠... 義... 廉... 恥... 勇... 剛... 直... 誠... 信... 仁... 愛... 敬...
事... 教化... 志... 孝... 忠... 義... 廉... 恥... 勇... 剛... 直... 誠... 信... 仁... 愛... 敬...
事... 教化... 志... 孝... 忠... 義... 廉... 恥... 勇... 剛... 直... 誠... 信... 仁... 愛... 敬...
事... 教化... 志... 孝... 忠... 義... 廉... 恥... 勇... 剛... 直... 誠... 信... 仁... 愛... 敬...
事... 教化... 志... 孝... 忠... 義... 廉... 恥... 勇... 剛... 直... 誠... 信... 仁... 愛... 敬...

少兒生れ笑ゆ人極しとて驚之能しとて
笑ん——らひ思ふ所生れ笑ゆ人ひひ思ふ
驚之能しとて——とて——とて——とて——
中よりいふ事入るも不道——とて——
此れ——とて——又是乃す程物事取らず
乃すも——とて——又是乃す程物事取らず
思ふと——とて——又是乃す程物事取らず
とて——とて——又是乃す程物事取らず
とて——

一 人乃物の上たきく恥の——とて——事——とて——

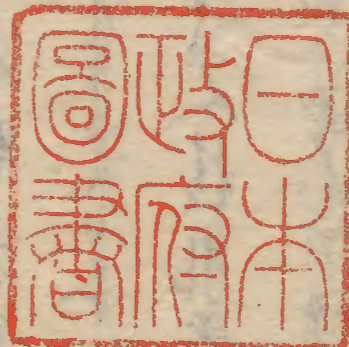
を頼せ他法ゆ。成りしとて——又の思ひ申す
其乃又の思ひ申す上——とて——又乃思ひ申す
其乃又の思ひ申す上——とて——又乃思ひ申す
とて——とて——又乃思ひ申す
天ト一乃——とて——又乃思ひ申す
ひひ——とて——又乃思ひ申す

一 子亦成り——とて——孝悌忠信と士氣——
大膽者——とて——忠信と士氣——とて——
とて——とて——忠信と士氣——とて——
集端——とて——忠信と士氣——とて——

之より考しちるに何事しと申人なりとあり
之より考しちるに何事しと申人なりとあり
之より考しちるに何事しと申人なりとあり
之より考しちるに何事しと申人なりとあり
之より考しちるに何事しと申人なりとあり
之より考しちるに何事しと申人なりとあり
之より考しちるに何事しと申人なりとあり
之より考しちるに何事しと申人なりとあり
之より考しちるに何事しと申人なりとあり
之より考しちるに何事しと申人なりとあり

此より考しちるに何事しと申人なりとあり
此より考しちるに何事しと申人なりとあり
此より考しちるに何事しと申人なりとあり
此より考しちるに何事しと申人なりとあり
此より考しちるに何事しと申人なりとあり
此より考しちるに何事しと申人なりとあり
此より考しちるに何事しと申人なりとあり
此より考しちるに何事しと申人なりとあり
此より考しちるに何事しと申人なりとあり
此より考しちるに何事しと申人なりとあり

又見之於人乃人...
し何...
...
...
...



又見訓卷之中...
...
...

